

古民家新聞

匠を感じる住まい

vol. 35

例年より早くやってきた秋、皆様いかがお過ごしでしょうか。三重県古民家再生協会では、10月初めに松阪市にて古民家鑑定を行うなど地道に活動を重ねております。さて、今回は去る7月に開催された、三重県古民家再生協会会員の一級建築士小林さんの自邸の古民家再生完成見学会に來られなかった方のために、完成写真をご紹介します！



【外観】縦格子の建具を新設することで、母屋(写真左)・離れに一体感を出した。格子は柿渋等の自然系塗料を塗装し、古材と調和させた。



【ロフト・子供部屋】リビングとつながるロフトは子どものスペース。家族でお互いに気配を感じながら過ごすことができる。



【キッチン】杉板の収納扉のキッチンは、まるで家具のよう。システムキッチンの戸板を、杉板に付け替えた一点物。



【リビング】ロフトにつながる吹き抜けをつくりリビングは大空間に。薪ストーブを入れることで冬も暖かい。天井と床には断熱材(スタイロフォーム)を入れ、従来の古民家の寒さを軽減した。明るくするため高窓も新設した。



befor

古民家再生前の外観。
三重県多気郡に立地。築約100年。



【玄関】格子細工が美しい建具は、三重県内で解体された古民家から譲り受けたもの。框・式台・床・天井すべてに杉の無垢材を使った。

お問い合わせは

一般社団法人 三重県古民家再生協会

〒510-8016 三重県四日市市富州原町10-6 TEL059-366-3833 FAX059-361-1717 mail info@tap-s.com

kominka-mie.org